

令和 7 年 9 月

関係機関 部局長 各位

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科
研究科長 永野 康行

研究紀要『減災復興学研究』原稿募集のご案内

減災復興学（*）の確立と発展に寄与することを目指すため、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科では研究紀要「減災復興学研究(Research of Disaster Resilience and Governance)」を令和 5 年度より発刊しております。この度、令和 7 年度発行分の研究紀要の原稿募集を開始しますので、以下にご案内致します。所属機関の皆様へのご周知を宜しくお願い申し上げます。

1. 研究紀要の内容

査読論文（査読あり）の内容は、減災復興学への貢献が期待できるもので、かつ結論の導出過程が適切であるものとします。減災復興学への貢献が期待できるものであれば、従来の学術論文の体裁や学問体系にとらわれず、調査報告やコンピューターシステムの開発、訓練方法の提案・実施結果等も査読論文の対象とします。

研究ノート（査読なし）の内容は、査読論文に準ずるもので、発展途上もしくは芽生え期の内容のものも取り扱うこととします。

2. 投稿できる者

防災・減災に関する各研究機関等の研究者、大学・高等専門学校・高等学校等の教職員及び学生・生徒を対象とします。

3. 投稿先

研究紀要編集委員会(kiyou_gensai@drg.u-hyogo.ac.jp)まで電子メールにてご投稿下さい。

4. 投稿受付期間(令和 7 年度発行分)

- (1)査読論文: 令和 7 年 9 月 10 日～10 月 15 日（「投稿用紙」、「論文原稿」を提出）
- (2)研究ノート: 令和 7 年 9 月 1 日～11 月 30 日（「投稿用紙」、「論文原稿」を提出）

※その他、査読手続等の詳細は投稿規定をご参照下さい。「投稿規程」、「投稿用紙」、「投稿テンプレート」は、紀要 web ページ (<https://drg-u-hyogo.jp/publication/rdrg>) を参照ください。ご投稿をお待ちしております。

*減災復興学とは、「減災の総合化」という視点から減災と復興を一体的に捉えて、安全で安心できる社会の持続的発展を目指すための学問体系をいいます。また、この減災復興学に基づき「政策の現場化」において、現場から現場への政策的コミュニケーションを大切にし、研究や教育の社会的還流を目指します。